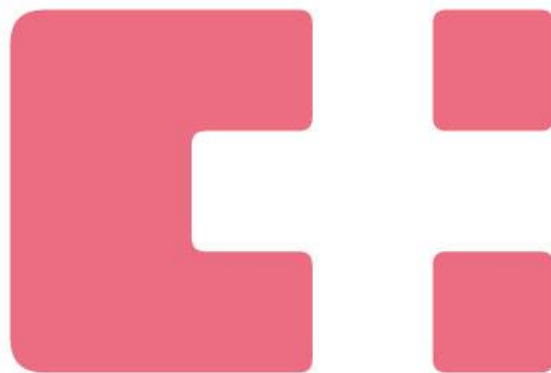


2021年3月期 決算説明会



ココカラファイン

ココロ、カラダ、ゲンキ。

2021年5月21日
証券コード:3098

Top Message 3

株式会社マツモトキヨシホールディングスとの
経営統合について

2021年3月期決算概況および主な取り組み

2021年3月期 決算概要 19

業績ハイライト

修正計画対比（P/L）

前年同期比（P/L）

ドラッグストア既存店 売上高伸長率推移

調剤既存店 売上高伸長率推移

商品分類別売上構成

売上総利益推移

販売管理費推移

連結貸借対照表

連結キャッシュフロー計算書

重点施策 34

ITを活用した顧客戦略

2022年3月期 見通し 37

出退店実績・計画（上期）

設備投資 実績・計画（上期）

連結業績の見通し（上期）

IRコンタクト 42

Top Message

- ・ 株式会社マツモトキヨシホールディングスとの
経営統合について
- ・ 2021年3月期決算概況および主な取り組み

2021年10月 統合会社の新社名

株式会社マツキヨココカラ&カンパニー

グループ理念

未来の常識を創り出し、
人々の生活を変えていく

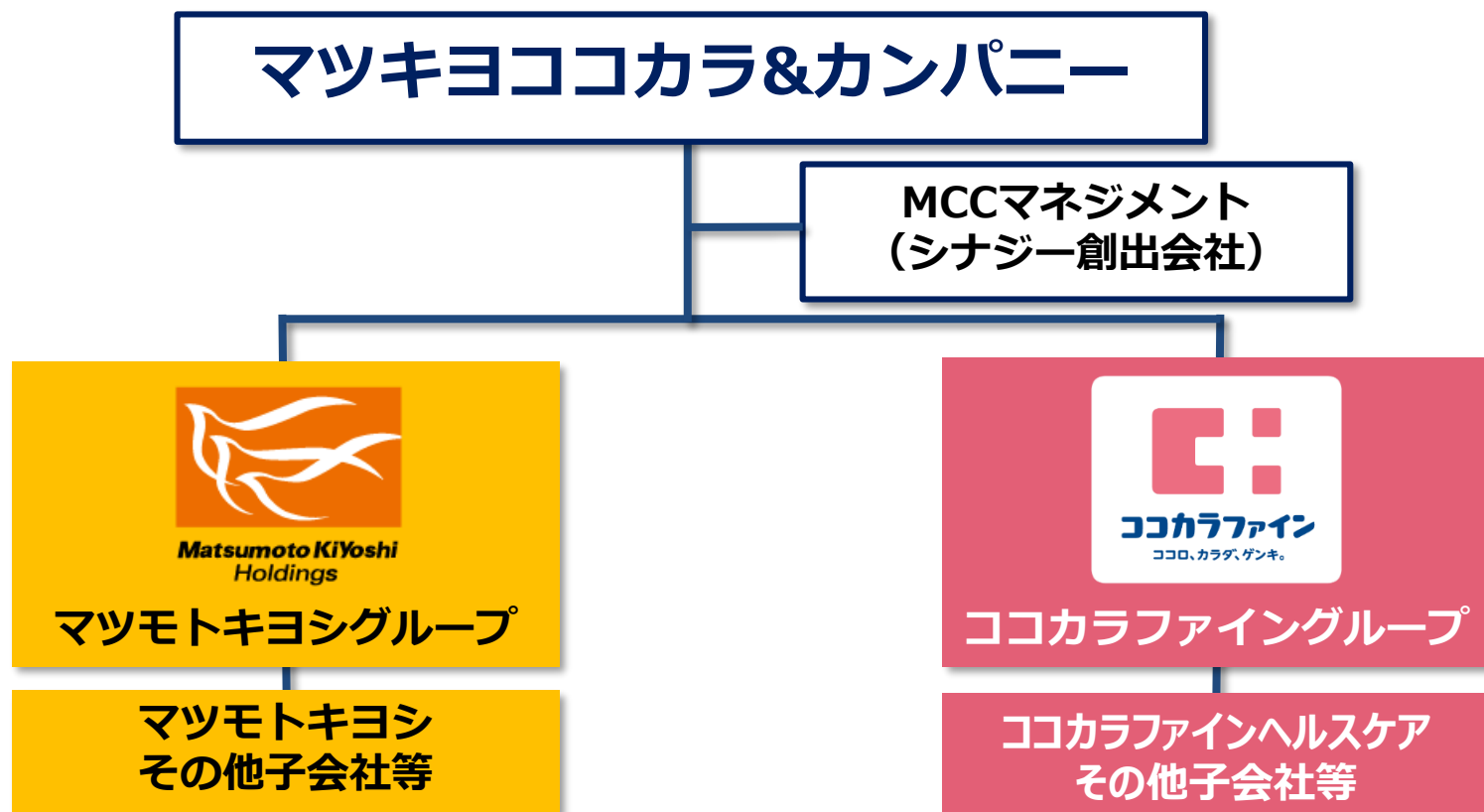
グループビジョン

美しさと健やかさを、
もっと楽しく、身近に。

グループ経営目標 2026年3月期

グループ売上高 1.5兆円
営業利益率 7.0%

統合後のグループ体制



経営体制（役員候補者）

取締役

代表取締役会長	松本 南海雄
代表取締役社長	松本 清雄
代表取締役副社長	塚本 厚志

松本 貴志
大田 貴雄
小部 真吾
石橋 昭男

松下 功夫	社外・独立
大村 宏夫	社外・独立
木村 恵司	社外・独立
沖山 奉子	社外・独立

山本 剛	
渡辺 玲一	
谷間 真	社外・独立
河合 順子	社外・独立

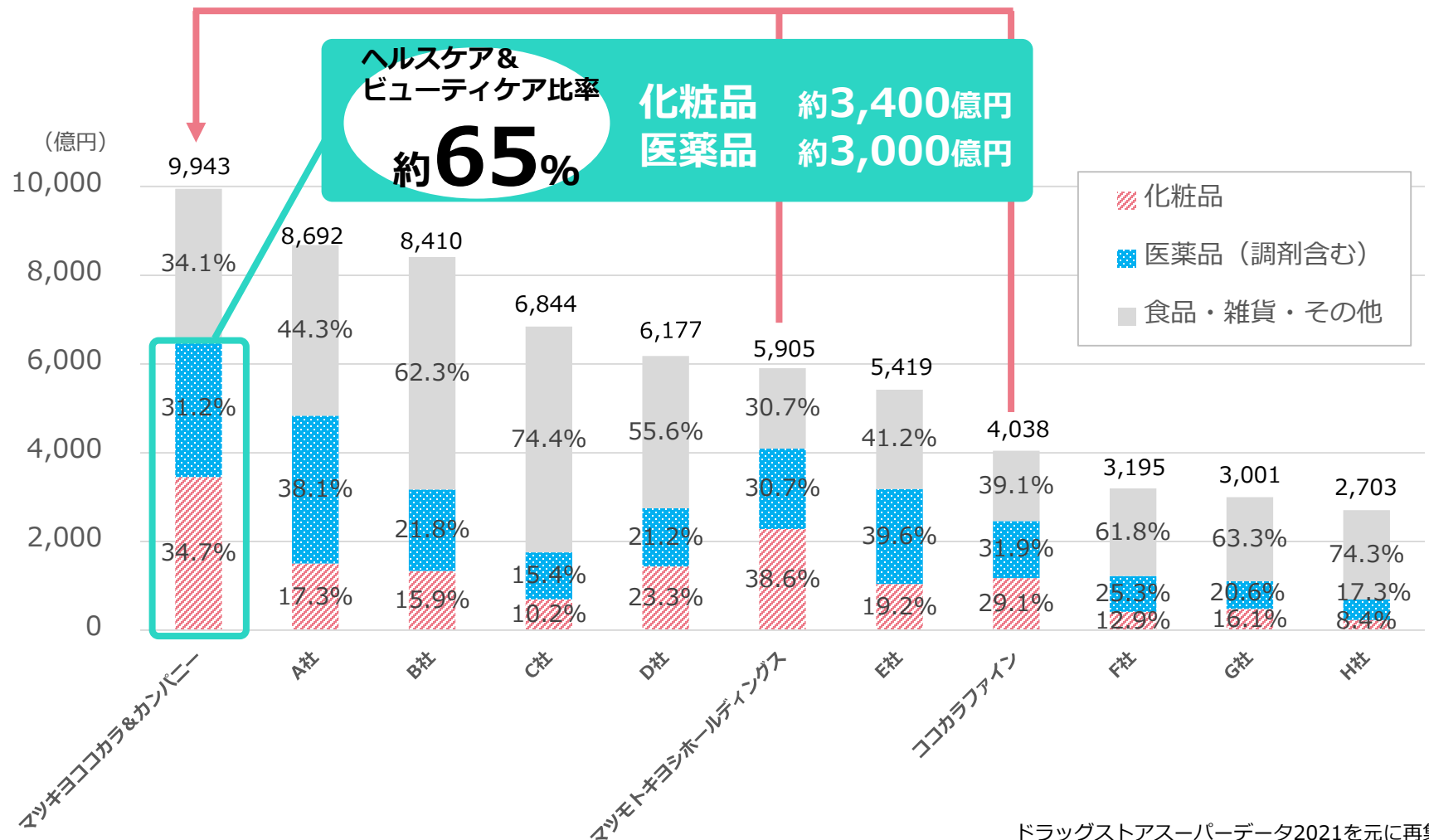
監査役

本多 寿男		鳥居 明	社外・独立
小池 徳子	社外・独立		
渡辺 昇一	社外・独立		

上記候補者は、①2021年6月29日開催予定のマツモトキヨシホールディングスの株主総会での再任を予定する候補者と、②マツモトキヨシホールディングスとココカラファインとの間で締結された2021年2月26日付株式交換契約が両社の定時株主総会において原案どおり可決され、かつ、株式交換の効力が発生することを条件として、本株式交換の効力発生日（2021年10月1日予定）に選任の効力が生ずる予定の候補者が含まれております。

統合新会社の特徴

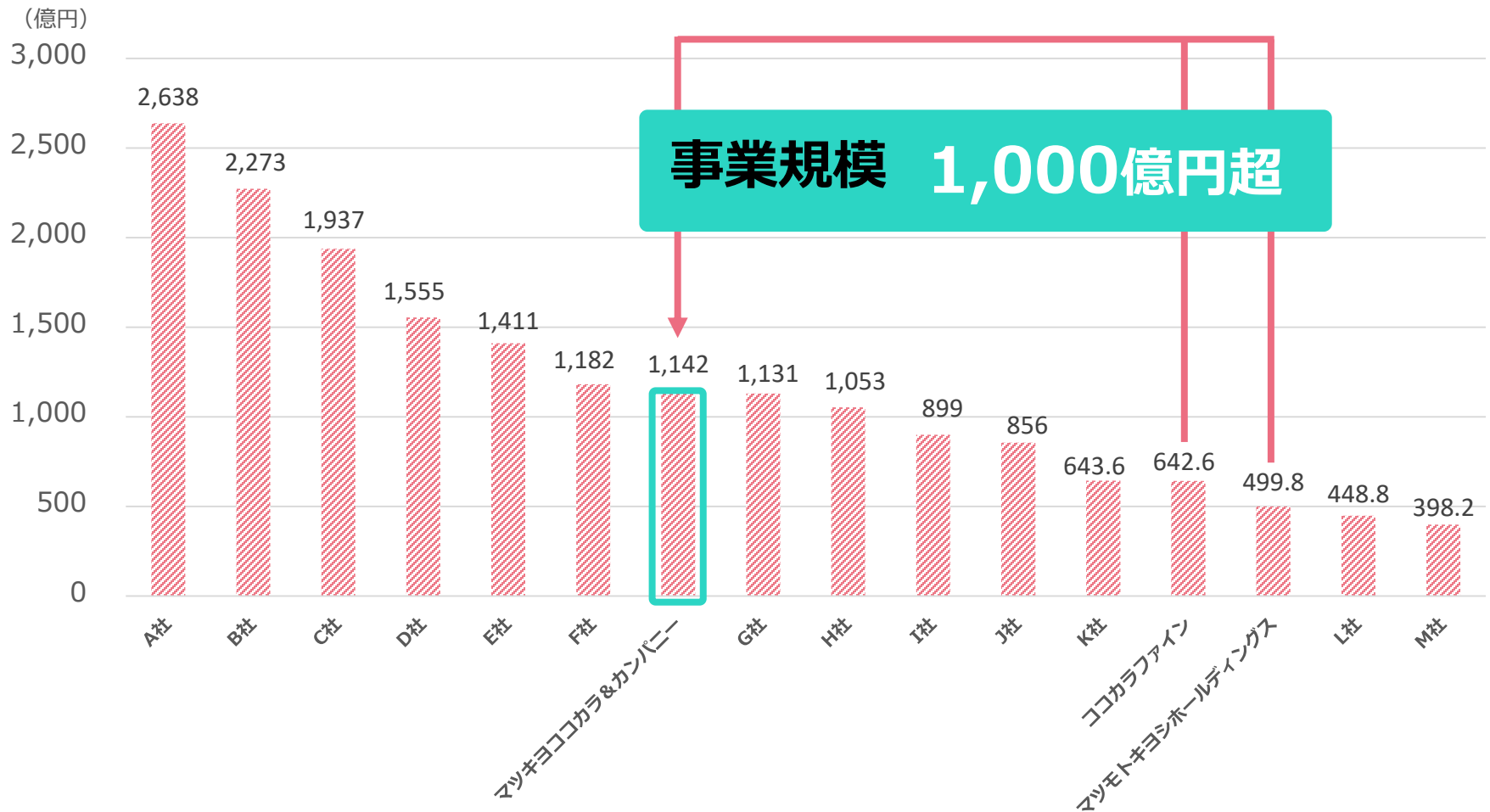
ドラッグストア業界（売上高、商品分類別構成比）



ドラッグストアスーパーデータ2021を元に再集計

統合新会社の特徴

調剤業界（調剤売上高）



ドラッグマガジン2020年8月号を元に再集計

経営統合に向けた取り組み

NB商品

販売力を活かした
仕入れ改善

PB商品

- ・ 相互供給・販売
- ・ 共同開発

販売促進

- ・ 共通デジタル販促
- ・ 1to1マーケティング

マーチャンダイジングの統一

店舗運営

- ・ 業務の標準化
- ・ 効率化

調剤

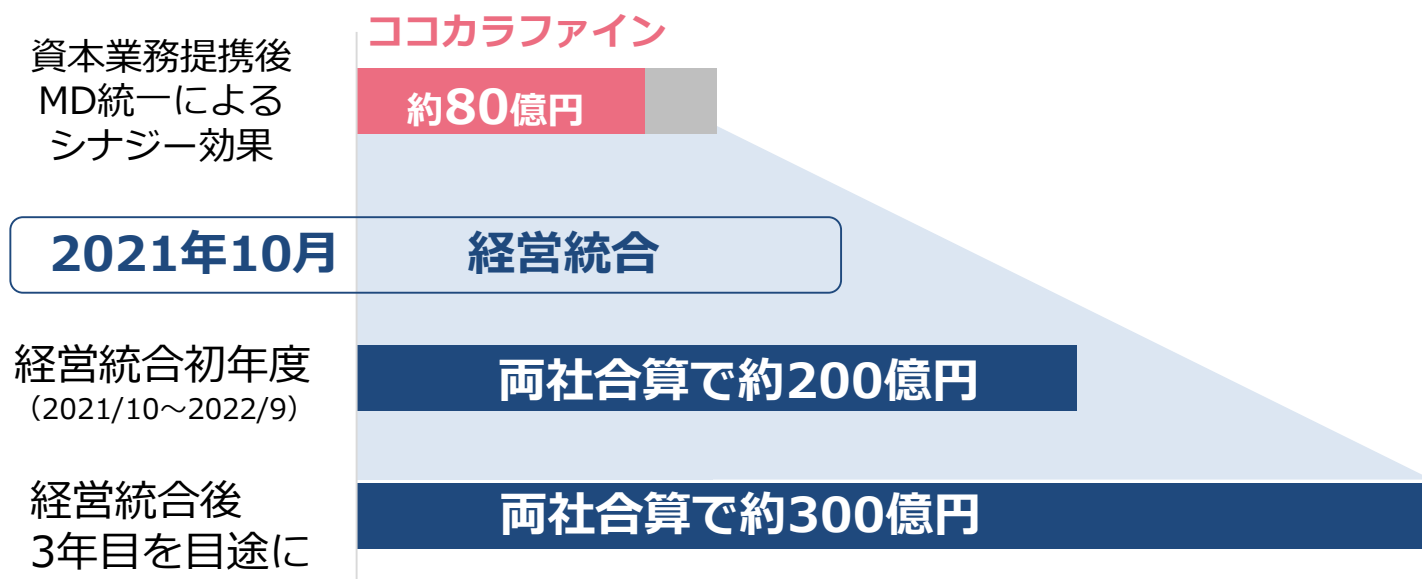
医薬品・調剤機器等の
調達コスト低減

コスト削減・効率化

物流・システムコストなど
削減・効率化

経営統合によるシナジー効果の実現

- ▶ 資本業務提携後、MD統一等によるシナジー効果
ココカラファインで年換算約80億円の利益改善
- ▶ 経営統合後3年目までを目途に営業利益300億円規模の改善効果
そのうち経営統合初年度で（2021年10月1日～2022年9月30日）
営業利益約200億円のシナジー発現 いずれも両社合算



統合スキーム

株式交換

株式交換比率

マツモトキヨシHD：ココカラファイン

1 : 1.70

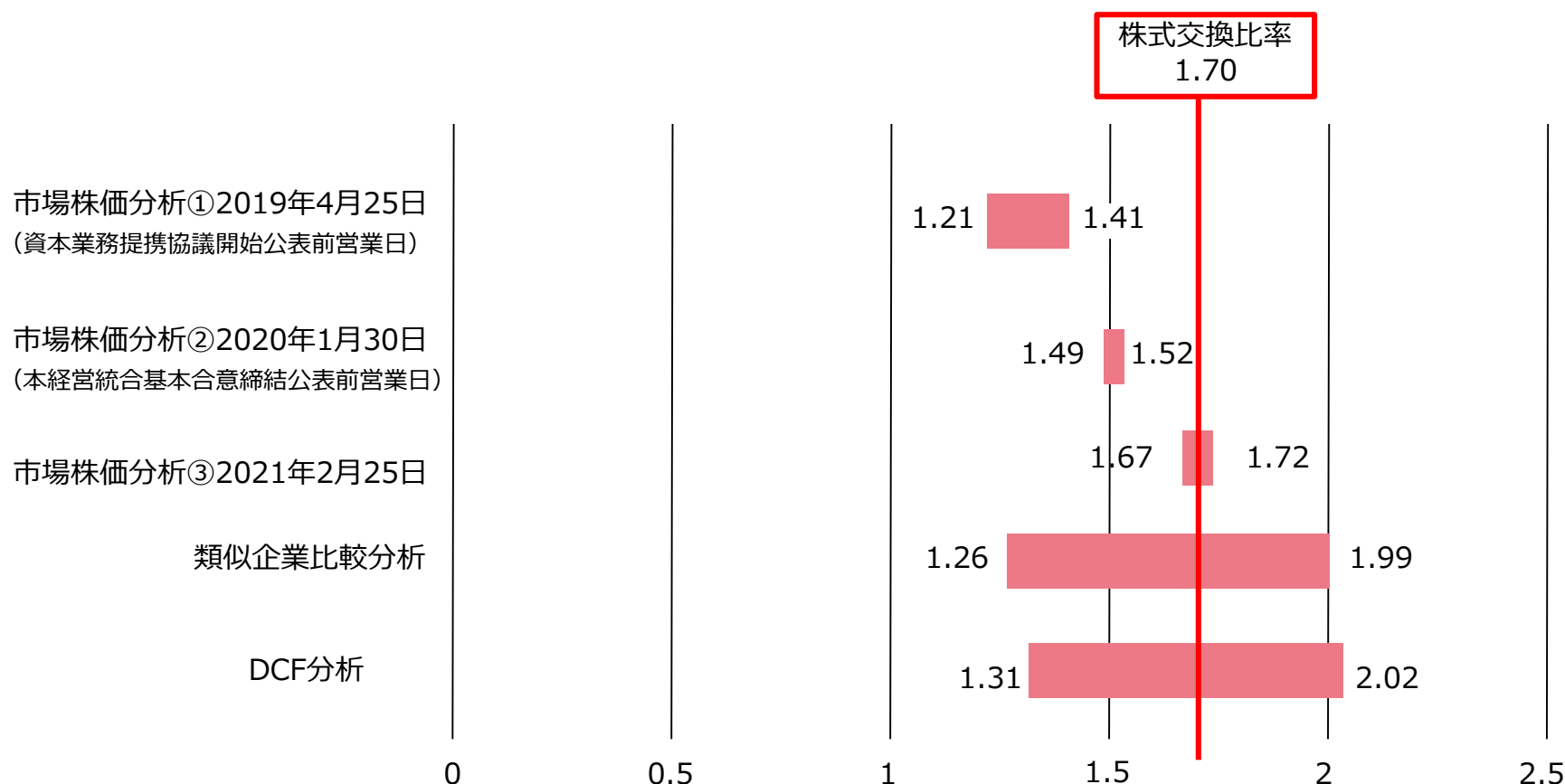
当社株式 1株に対して
マツモトキヨシHD普通株式 1.70株を
割当交付予定

ココカラファイン		アドバイザー名称
ファイナンシャルアドバイザー		三菱UFJモルガン・スタンレー証券
法務アドバイザー		野村総合法律事務所
マツモトキヨシHD		アドバイザー名称
ファイナンシャルアドバイザー		大和証券
法務アドバイザー		アンダーソン・毛利・友常法律事務所

両社とも双方のファイナンシャルアドバイザーから算定書及び財務的見地から公正である旨の意見書（フェアネス・オピニオン）を取得しております。両社の取締役会いずれにおきましても、相手方の役員又は従業員を兼務する者がいない等、取締役会における意思決定の実施にあたって両社間で利益相反関係は生じておりません。

三菱UFJモルガン・スタンレー証券（当社の第三者算定機関）による算定結果

2021年2月26日付プレスリリース「株式会社マツモトキヨシホールディングスと株式会社ココカラファインとの経営統合に関する経営統合契約の締結のお知らせ」より抜粋



Top Message

- ・ 株式会社マツモトキヨシホールディングスとの
経営統合について
- ・ **2021年3月期決算概況および主な取り組み**

環 境

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響
 - 訪日外国人減少によるインバウンド関連需要の急減
 - 新しい生活様式により、家庭内で消費する日用品や衛生品は好調だったものの 化粧品カテゴリーは苦戦
 - 受診抑制による 処方せん枚数減少、処方期間の長期化
- ・薬価・診療報酬改定の影響

- PCR検査キットや抗原検査キット等の新しい需要への対応
- 「ECで購入した商品の店舗受け取りサービス」の対象店舗拡大

① ドラッグストア事業

- マツモトキヨシとのMD統一によるシナジー早期実現
- 子会社CFIZによる23店舗を含む52店舗の出店、28店舗の退店

結果 → 売上高 前年同期比 91.8%

② 調剤事業

- M&Aや調剤併設化による規模拡大で105店舗純増
- オンライン服薬指導への対応

結果 → 売上高 前年同期比 109.2%

③ 販売管理費

- 人件費コントロール
- 営業費の圧縮など

結果 → 販売管理費 前年同期比 99.8%

専門性の高い薬局づくり

敷地内薬局の展開

2018/4 和泉市立総合医療センター店 開局

2019/3 大阪国際がんセンター店 開局

2021/4 白十字病院店 開局（福岡）

2021/6 十善会病院店 開局（長崎）

今後の開局予定

2021/11 大田市立病院（島根）

2022/5 安佐市民病院（広島）

2022/6 済生会京都府病院（京都）

2023/4 大阪はびきの医療センター（大阪）



地域密着型のかかりつけ薬局づくり

健康サポート薬局の展開

2019年3月末

26店舗

2020年3月末

54店舗

2021年3月末

83店舗

2022年目標

100店舗

お薬手帳アプリの活用



患者様の利便性向上

- ・ お薬手帳の携帯性向上
- ・ 処方せん画像送信機能による待ち時間削減

2018年以降
ダウンロード数は加速2021年3月
累計DL数

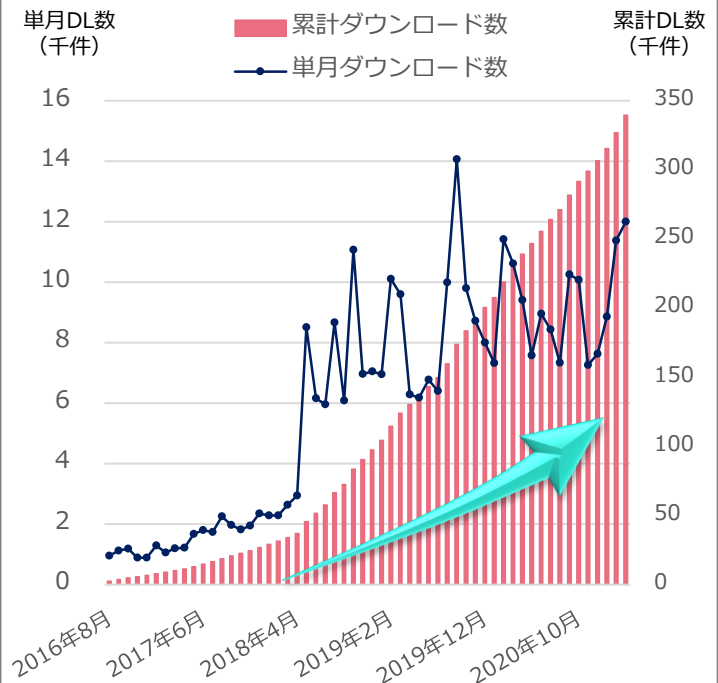
34万DL

処方せん画像
送信機能利用
件数も増加2021年3月
(月間)

3.6万件

全処方せんの6.3%

お薬手帳アプリ ダウンロード数推移

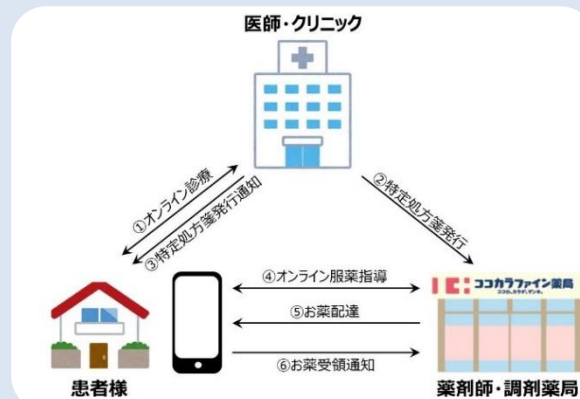


オンライン服薬指導への取り組み

2018年9月～
国家戦略特区（福岡市）にて
遠隔服薬指導を開始

メリット

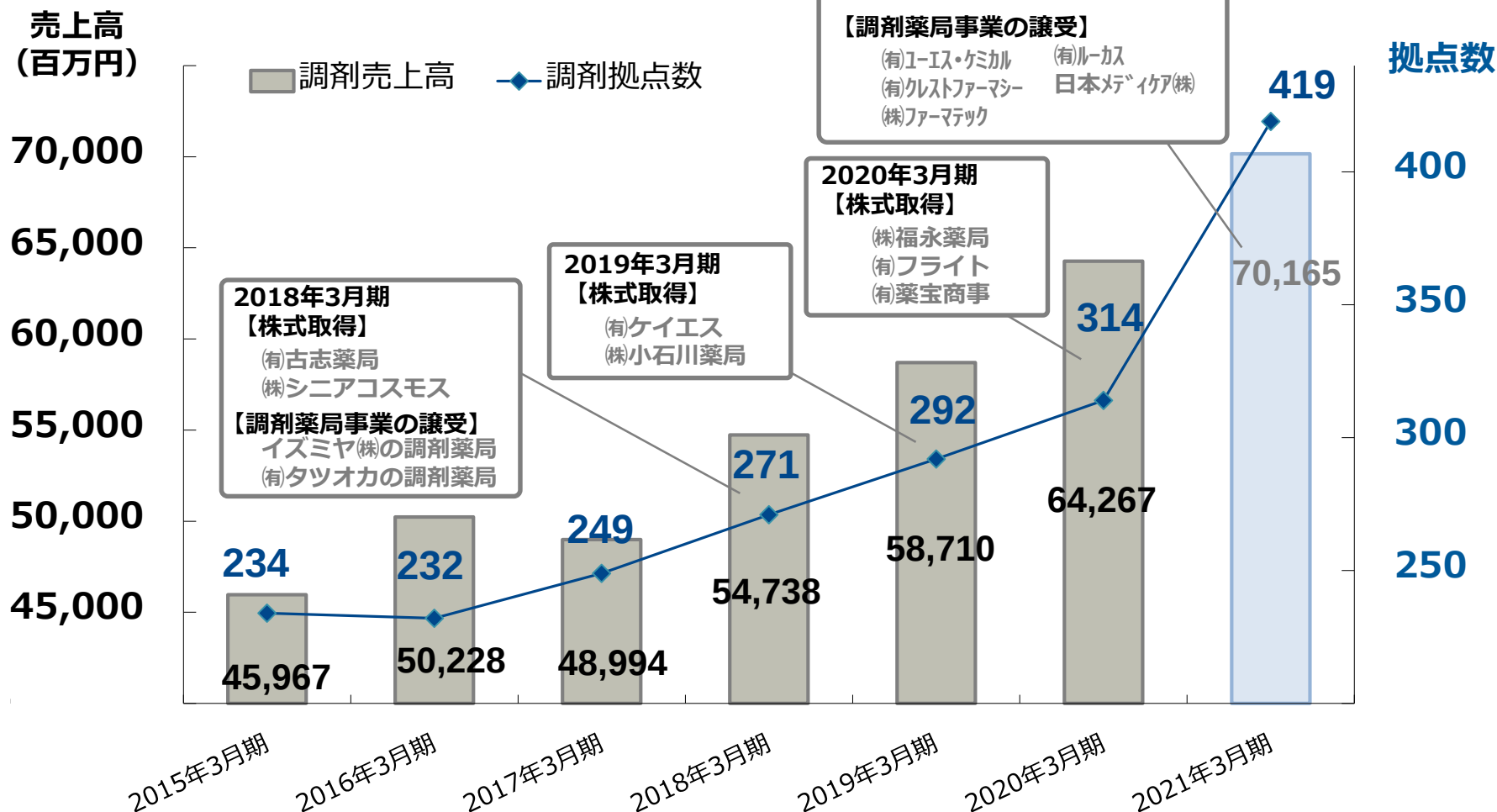
- ・ 移動時間削減などの効率化
- ・ 最適な頻度でコミュニケーションがとれる



2020年5月～
医療機関でのコロナ感染拡大を防ぐ有力な機能として一部店舗で実施

2021年1月～
オンライン服薬指導サービス「curon」を全店舗に導入
コロナ禍で小児科を受診するお子様のご両親や、
感染に不安を感じながら精神科に通院する患者様などのニーズが大きい

調剤売上高と調剤拠点数の推移



2021年3月期 決算概要

売上高

売上高 366,440百万円
前年同期比 90.7% 修正計画比 96.0%

- ▶ **ドラッグストア既存店売上伸長率** 修正計画 -4.0% → 実績 -9.1%
 - ・新型コロナ影響
 - マスク・消毒薬等の特需、インバウンドを含む都市型店舗の売上減
 - 風邪薬など冬物季節商材・年末商材の低迷
- ▶ **調剤既存店売上伸長率** 修正計画 -0.2% → 実績 +0.1%
 - ・薬価・診療報酬改定の影響
 - ・処方せん枚数減(-8.8%)・処方せん単価増(+9.7%)
- ▶ **店舗数：116店舗純増（出店146・退店30）、スクラップ&ビルド推進**
 - ・エイチ・ツー・オー リテイリング(株)との合併子会社(株)CFIZにより23店舗出店
 - ・(株)フタツカホールディングス（69店舗）のグループ化
 - ・調剤取扱店舗は、その他M&Aや調剤併設化による規模拡大で合計105店舗純増

売上総利益

売上粗利益 108,923百万円
前年同期比 97.2% 修正計画比 94.6%

- ▶ **ドラッグストア事業**

売上総利益率は、前期比0.5ポイント改善し修正計画ベースには未達
（前期実績28.5%→修正計画29.7%→実績29.0%）

 - ・(株)マツモトキヨシホールディングスとの資本業務提携によるMD統一で粗利改善
 - ・コロナ影響の悪化によるカテゴリーミックス悪化
- ▶ **調剤事業**

規模拡大施策により、売上総利益額は前期比111.0%

経常利益

経常利益 12,815百万円
前年同期比 82.0% 修正計画比 77.7%

- ▶ 販売管理費で修正計画比 約23億円の圧縮
(前期実績 987億円→修正計画 1,009億円→実績 985億円)
- ・ 店舗インフラ標準化を中心とする店舗作業の効率化
 - ・ コロナ禍での人件費・賃借料・営業費等をコントロール
 - ・ 改装投資のコントロール

親会社株主に帰属する 当期純利益

親会社株主に帰属する当期純利益 4,320百万円
前年同期比 52.2% 修正計画比 67.5%

▶ 特別損失

- ・ (株)マツモトキヨシホールディングスとの資本業務提携によるMD統一に伴う
商品統合関連費用 見込み：50億円→実績：46億円
 - うち 商品評価損 見込み：43億円→実績：43億円
 - うち その他費用 見込み：7億円→実績：3億円

- ▶ コロナ影響の悪化により風邪薬など冬物季節商材・年末商材の低迷で
売上悪化、カテゴリーミックス悪化
- ▶ 販管費は、引き続き大幅圧縮

	2021年3月期 実績	2021年3月期 修正計画	修正計画 差異	計画比 (%)	(単位：百万円)
売上高	366,440 (100.0%)	381,600 (100.0%)	-15,160	96.0	▶ ドラッグストア・調剤既存店増収率変動 計画 -3.3% → 実績 -7.4% ・ コロナ影響の悪化で風邪薬など冬物季節商材・ 年末商材の低迷 ▶ 出店：修正計画142店舗 → 実績146店舗 閉店：修正計画 31店舗 → 実績 30店舗
ドラッグストア	274,908	290,385	-15,477	94.7	
調剤	70,165	70,380	-215	99.7	
卸売・介護	21,366	20,835	531	102.5	
売上総利益	108,923 (29.7%)	115,100 (30.2%)	-6,177	94.6	▶ ドラッグストア売上総利益率 修正計画29.7% → 実績29.0% ・ コロナ影響の悪化によりカテゴリーミックス悪化
販売管理費	98,575 (26.9%)	100,900 (26.4%)	-2,325	97.7	▶ コロナ禍での人件費・賃借料・営業費等をコントロール ▶ 改装投資のコントロール
営業利益	10,348 (2.8%)	14,200 (3.7%)	-3,852	72.9	
経常利益	12,815 (3.5%)	16,500 (4.3%)	-3,685	77.7	
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,320 (1.2%)	6,400 (1.8%)	-2,080	67.5	

▶コロナ影響による大幅減収

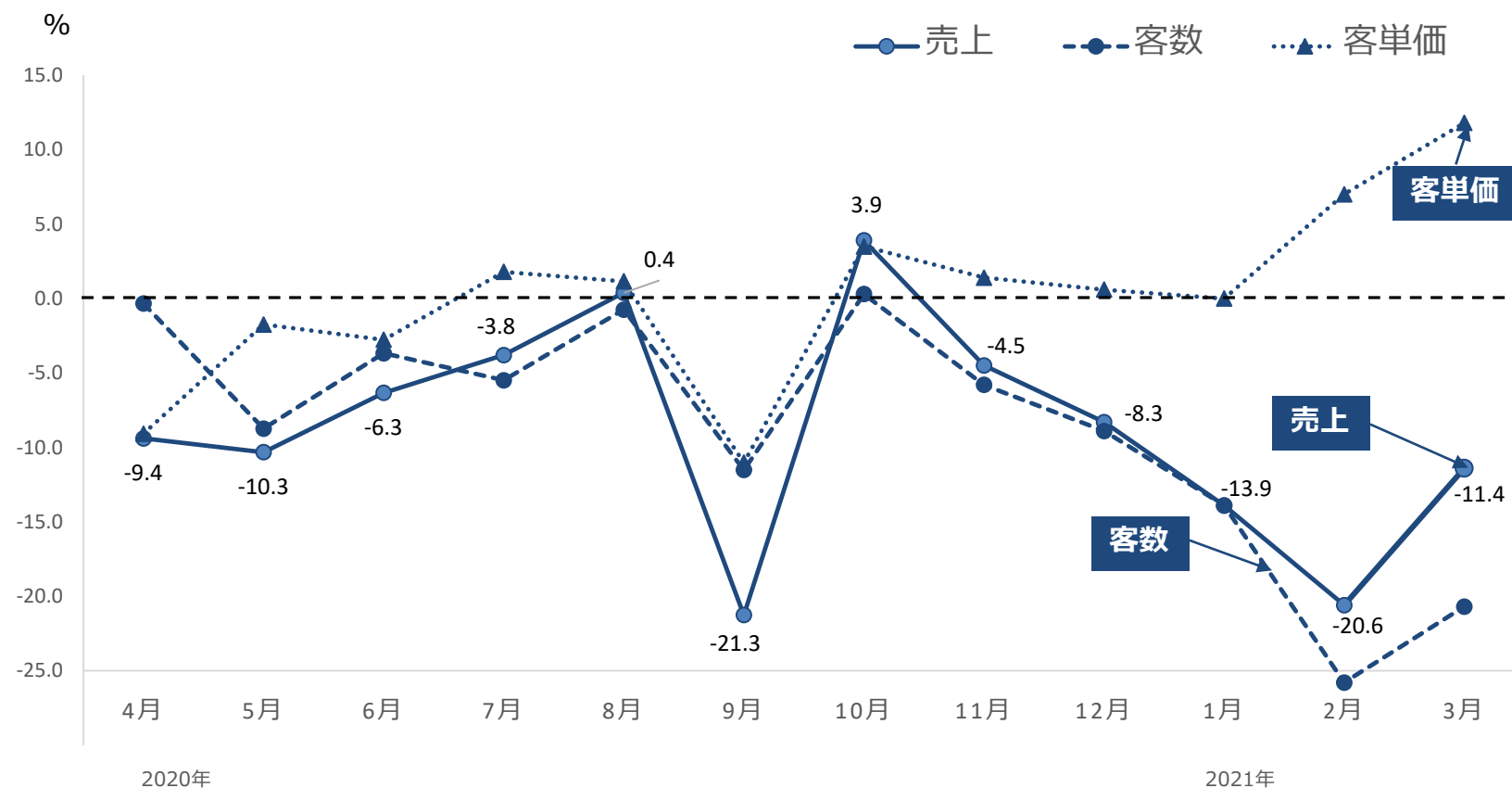
▶カテゴリーミックス悪化をMD統一による粗利改善がカバーし、ドラッグストアの売上総利益率は0.5ポイント改善

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	増減額	前期比 (%)	(単位：百万円)
売上高	403,875 (100.0%)	366,440 (100.0%)	-37,435	90.7	▶ドラッグストア・調剤既存店増収率変動 前期 -0.4% → 当期 -7.4% ・マスク・消毒薬等の特需 ・インバウンドを含む都市型店舗の売上減 ・風邪薬など冬物季節商材・年末商材の低迷 ・薬価・診療報酬改定の影響 ▶出店：146店舗 閉店：30店舗 ▶取引先店舗数減少による卸売減
ドラッグストア	299,352	274,908	-24,444	91.8	
調剤	64,267	70,165	+5,898	109.2	
卸売・介護	40,253	21,366	-18,887	53.1	
売上総利益	112,061 (27.7%)	108,923 (29.7%)	-3,138	97.2	▶ドラッグストア売上総利益率の改善 前期28.5% → 当期29.0% ・MD統一による粗利改善 ・コロナ影響の悪化によるカテゴリーミックス悪化
販売管理費	98,724 (24.4%)	98,575 (26.9%)	-149	99.8	▶店舗インフラ標準化を中心とする店舗作業の効率化 ▶コロナ禍での人件費・賃借料・営業費等をコントロール ▶改装投資のコントロール
営業利益	13,336 (3.3%)	10,348 (2.8%)	-2,988	77.6	
経常利益	15,626 (3.9%)	12,815 (3.5%)	-2,811	82.0	
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,270 (2.0%)	4,320 (1.2%)	-3,950	52.2	▶MD統一に伴う棚卸資産廃棄46億円

ドラッグストア事業 売上高

既存店（累計） 売上高 9.1%減 客数：9.0%減 客単価：0.1%減

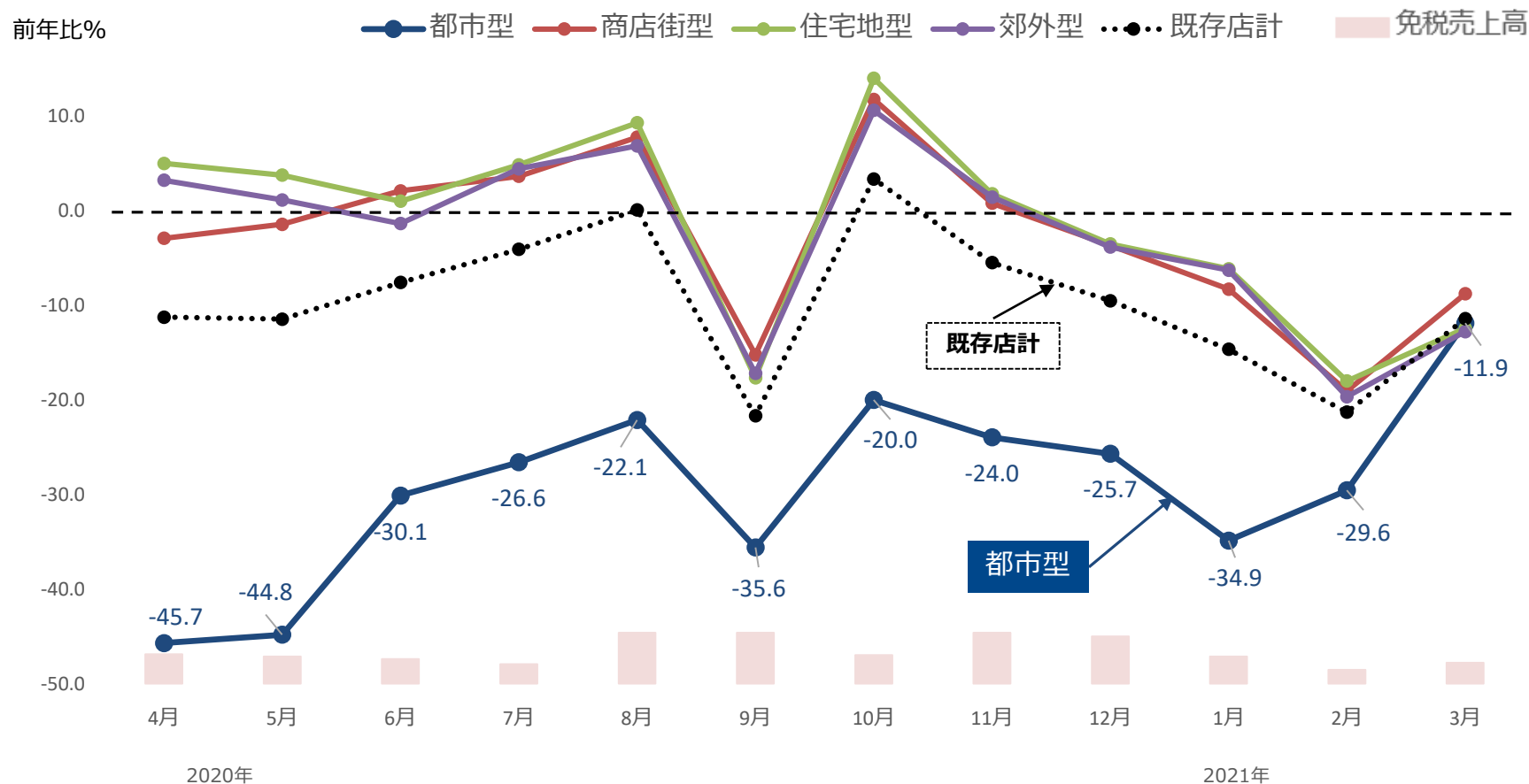
ドラッグストア既存店 売上高伸長率推移



立地別前年対比と免税売上

コロナ影響により、インバウンドを含む都市型店舗は大幅売上減となり徐々に回復

ドラッグストア既存店 立地別売上高伸長率推移

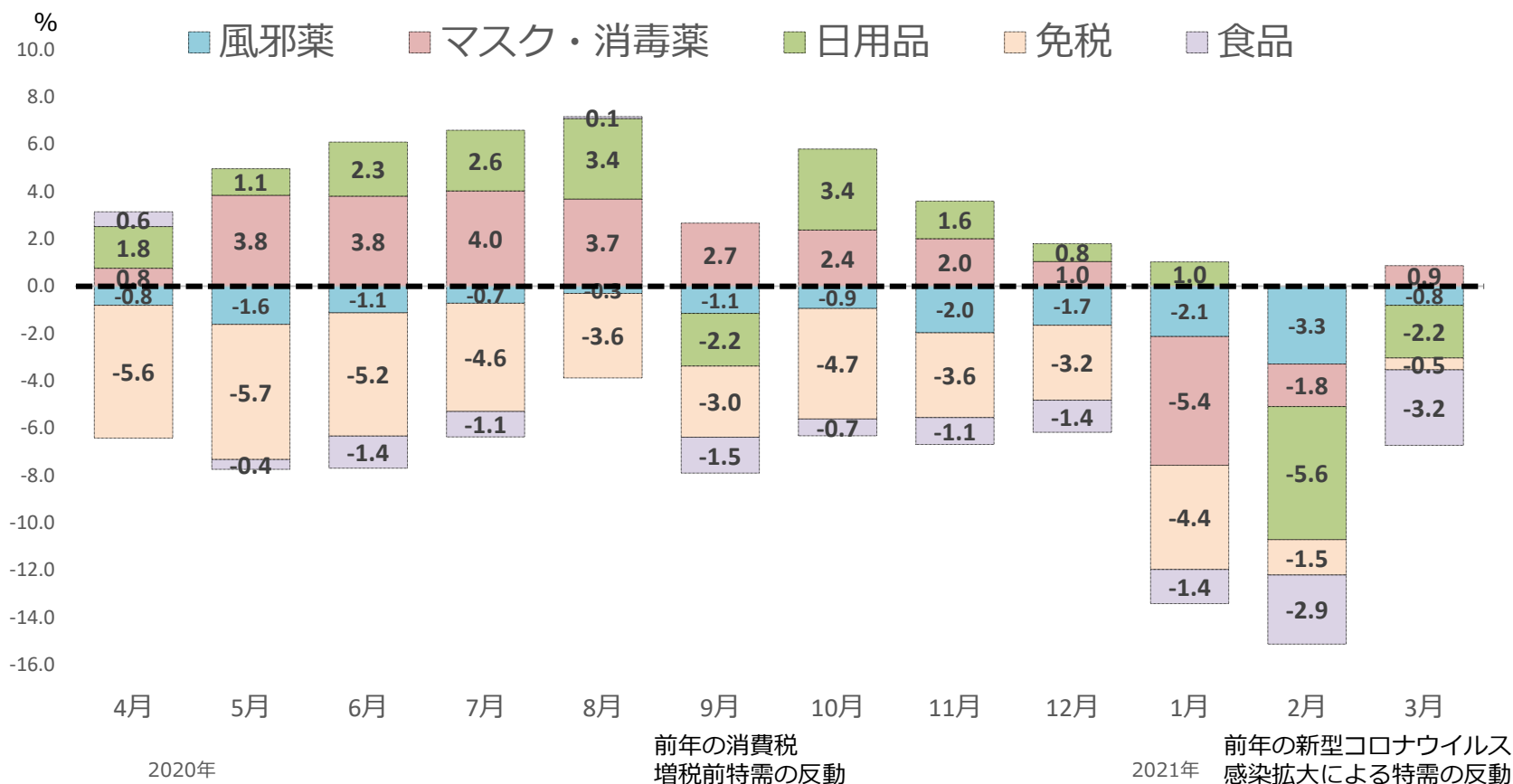


カテゴリー別 既存店増収率の押上げ・押下げ影響

風邪薬の押下げ影響は冬場に最大化

免税の押下げ影響、日用品の押上げ影響は4Q以降は一巡

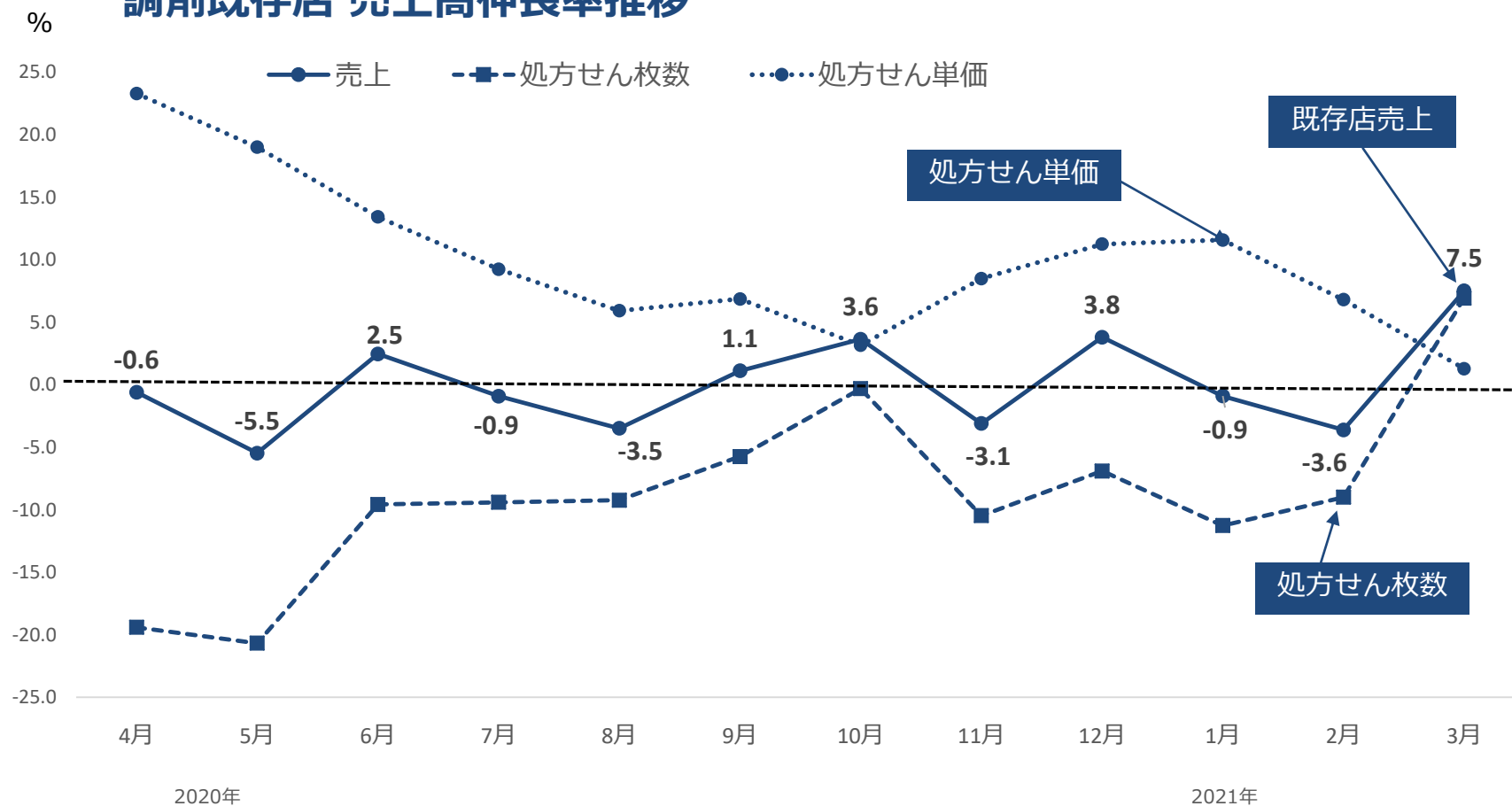
ドラッグストア既存店増収率 押上げ・押下げ影響



調剤事業 売上高

コロナ影響により、処方せん枚数の大幅減、処方せん単価大幅増が続いたが回復傾向へ

調剤既存店 売上高伸長率推移



	2020年3月期			2021年3月期		
	売上金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	売上金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)
医薬品	115,734	31.8	103.8	113,336	32.8	97.9
うちOTC	51,466	14.2	97.5	43,171	12.5	83.9
うち調剤	64,267	17.7	109.5	70,165	20.3	109.2
化粧品	105,781	29.1	97.9	89,227	25.9	84.4
健康食品	10,243	2.8	93.9	8,929	2.6	87.2
衛生品	42,449	11.7	105.4	44,044	12.8	103.8
日用雑貨	49,337	13.6	103.2	52,139	15.1	105.7
食品	40,074	11.0	101.2	37,396	10.8	93.3
全店計	363,620	100.0	101.5	345,074	100.0	94.9
卸売	37,024	-	94.3	17,932	-	48.4
小計	400,645	-	100.8	363,007	-	90.6
介護	3,254	-	102.8	3,458	-	106.3
※セグメント間取引消去	(24)	-	-	(25)	-	-
全社計	208,175	-	103.8	366,440	-	90.7

■ ドラッグストア事業

- ・コロナ影響により、ヘルス&ビューティ（OTC医薬品・化粧品・健康食品）の構成比減少
カテゴリーミックス悪化→MD統一による粗利改善がカバー
- ・衛生品（マスク・消毒薬等）は構成比増加

■ 調剤事業

- ・M&A等の規模拡大施策により調剤売上構成比増加

■ 卸売

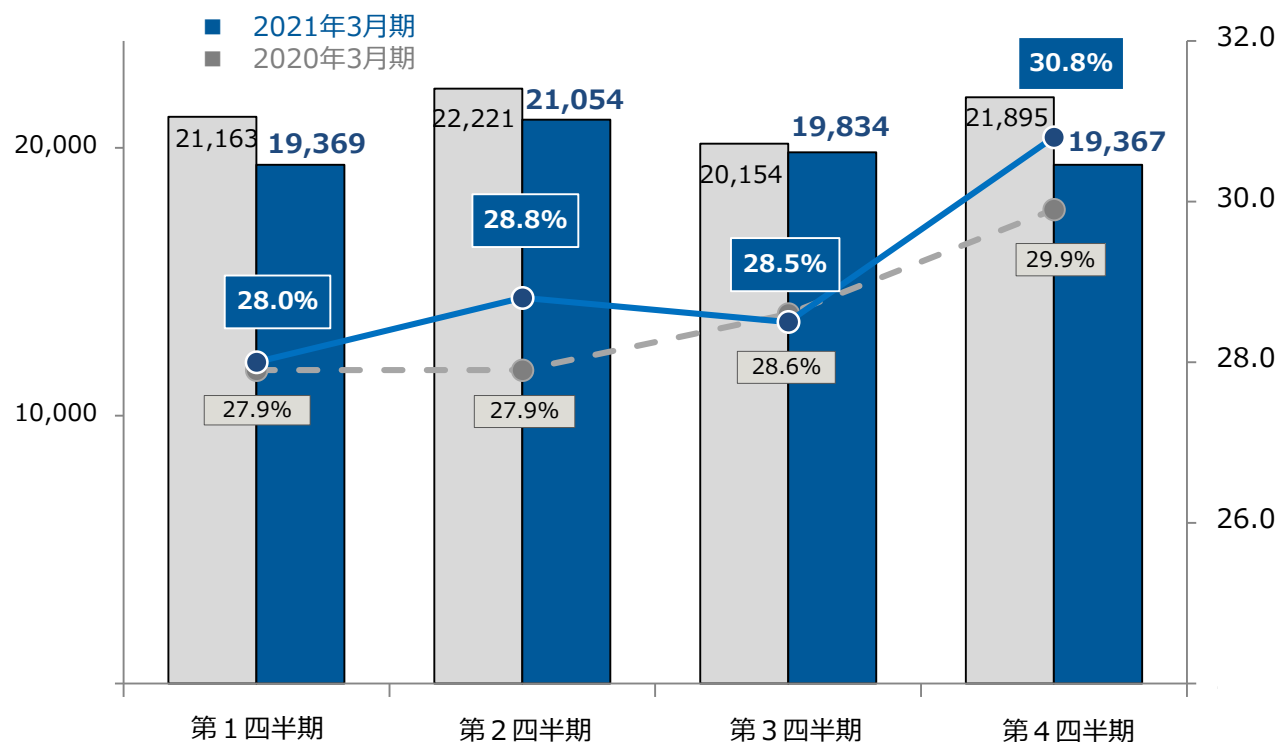
- ・取引先店舗数の減少

(単位：百万円)

売上総利益率は29.0%となり、売上総利益率は前期比0.5ポイント改善				
	2020年3月期	2021年3月期	前期比	増減
売上	299,352	274,908	91.8	-24,444
売上総利益額	85,434	79,625	93.2	-5,809
売上総利益率	28.5	29.0	-	+0.5ポイント

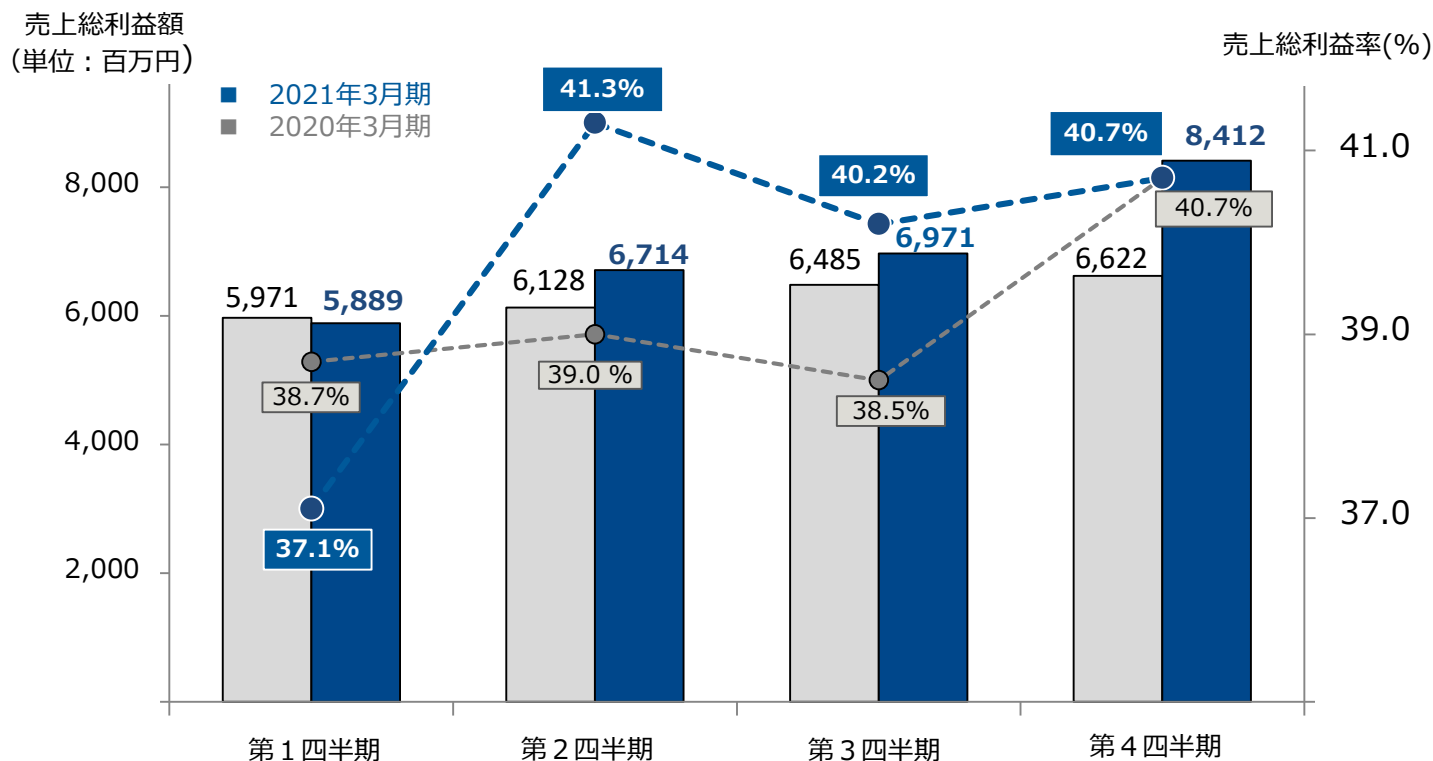
売上総利益額
(単位：百万円)

売上総利益率(%)



(単位：百万円)

コロナ禍、薬価・診療報酬改定下でも、売上総利益は金額ベースで前期比 111.0%				
	2020年3月期	2021年3月期	前期比	増減
売上	64,267	70,165	109.2	+5,898
売上総利益額	25,208	27,987	111.0	+2,779
売上総利益率	39.2%	39.9	-	+0.7ポイント



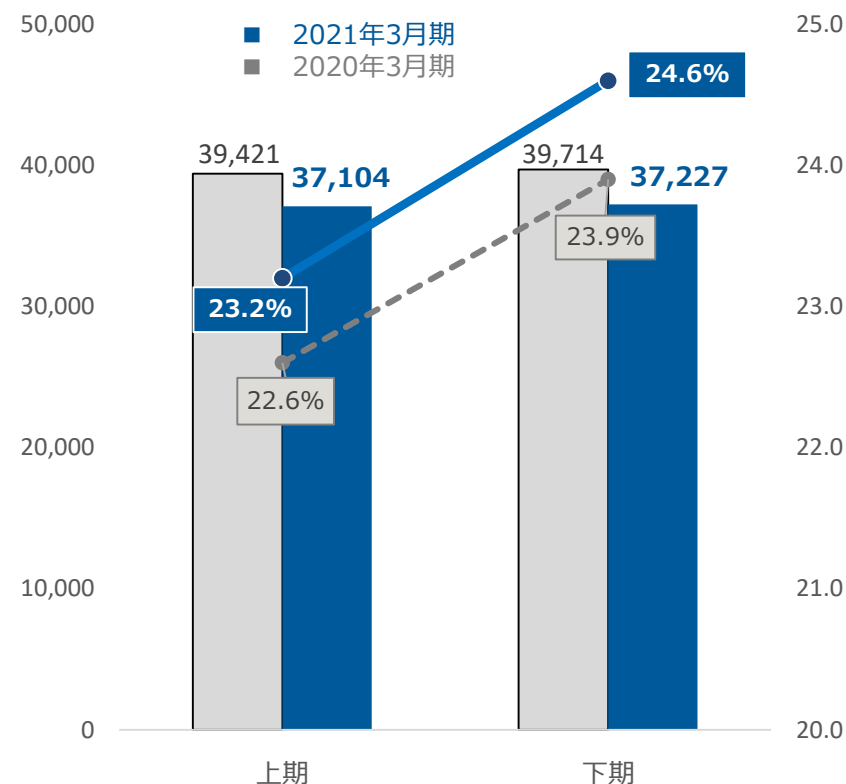
既存店 ココカラファインヘルスケア(ドラッグストア・調剤)
・コロナ禍での人件費・賃借料・営業費等をコントロールし、販管費大幅圧縮

(単位：百万円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	増減額	前期比 (%)
販売管理費合計	79,135 (23.2%)	74,331 (23.9%)	-4,804	93.9
人件費	39,367 (11.6%)	38,026 (12.2%)	-1,341	96.6
賃借料	23,332 (6.9%)	22,438 (7.2%)	-894	96.2
営業費	4,589 (1.3%)	3,731 (1.2%)	-858	81.3
水道光熱費	3,022 (0.9%)	2,644 (0.9%)	-378	87.5
減価償却費	2,970 (0.9%)	2,473 (0.8%)	-497	83.3
その他	5,854 (1.7%)	5,019 (1.6%)	-836	85.7

販売管理費額
(単位：百万円)

販売管理費率
(%)



2020年3月末との比較

(単位：百万円)

2020年3月末		2021年3月末	
流動資産	負債	流動資産	負債
140,123	68,645	117,052 (-23,071)	61,899 (-6,746)
	純資産		純資産
	139,653		141,508 (+1,855)
固定資産		固定資産	
68,175		86,354 (+18,179)	
総資産 208,298百万円		総資産 203,407百万円	

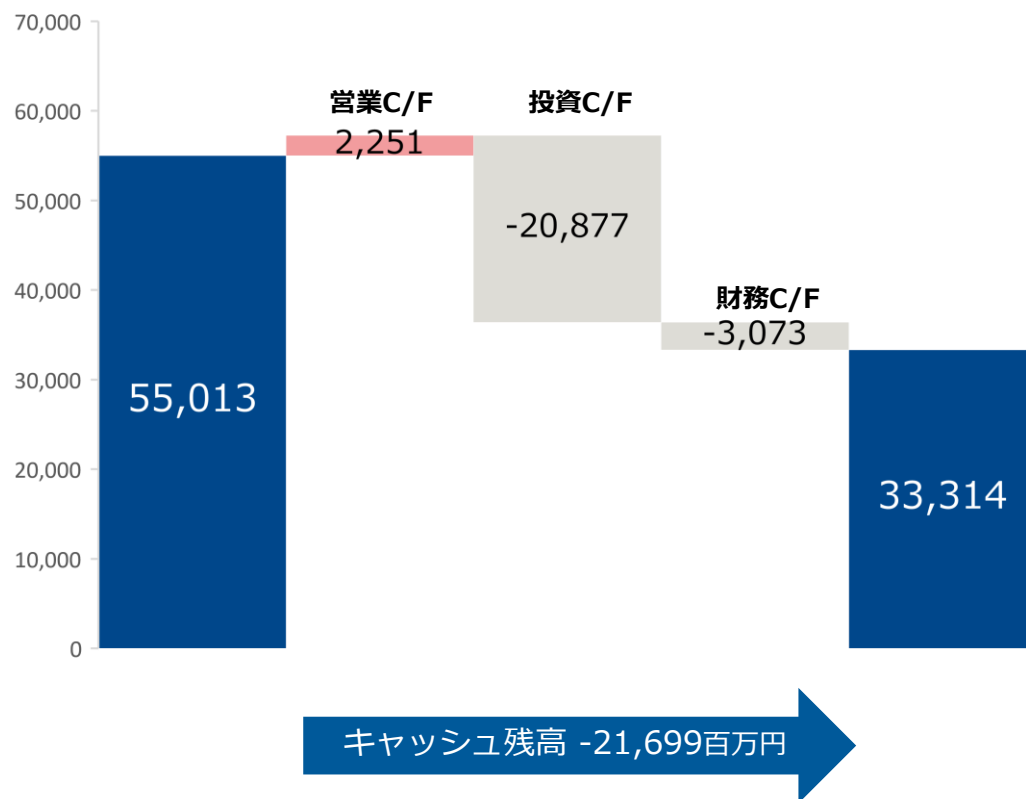
2020年3月末との比較

(単位：百万円)

流動資産	-23,071
現金及び預金	-21,742
売掛金	-3,382
たな卸資産	+3,614
未収入金	-1,538
固定資産	+18,179
有形固定資産	+2,078
無形固定資産	+14,867
投資その他の資産	+1,232
負債	-6,746
買掛金	-6,854
未払法人税等	-2,027
純資産	+1,855
利益剰余金	+1,436
自己株式	+250

2021年3月期

(単位：百万円)



(単位：百万円)

営業キャッシュフロー

税金等調整前当期純利益	7,480
売上債務の増減額 (△は増加)	5,957
商品統合関連費用	4,600
減価償却費及びその他の償却費	4,125
未収入金の増減額 (△は増加)	1,851
仕入債務の増減額 (△は減少)	△9,865
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,835
法人税等の支払額	△5,260

投資キャッシュフロー

連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△13,519
有形固定資産の取得による支出	△4,650
敷金の差入による支出	△1,323
無形固定資産の取得による支出	△981

財務キャッシュフロー

配当金の支払い額	△2,883
----------	--------

重点施策

ココカラクラブカードと2つのアプリによる顧客数増大

ココカラクラブカード

ドラッグストア

調剤薬局



稼働会員数

2020年3月末

734万人

⇒

2021年3月末

681万人

会員売上比率

75.3%

⇒

75.2%

ココカラ公式アプリ

ドラッグストア

調剤薬局



累計ダウンロード数

2020年3月末

199万件

⇒

2021年3月末

329万件

マイ店舗登録数

138万件

⇒

202万件

<マイ店舗登録機能>

店舗独自のお買い物情報が見られる
クーポン・チラシ・お知らせ

お薬手帳アプリ

調剤薬局



累計ダウンロード数

2020年3月末

23.0万件

⇒

2021年3月末

34.0万件

処方せん事前送信件数

2020年3月末
(月間)

2.3万件

⇒

2021年3月末
(月間)

3.6万件

<処方せん事前送信機能>

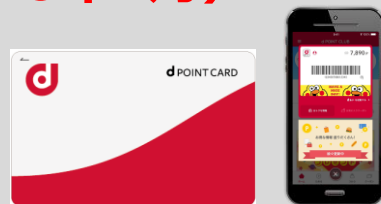
・医療機関で処方せんを受け取った
段階で調剤の予約ができる
⇒ 全処方せんの6.3%に

顧客の固定化

1to1
マーケ
ティング

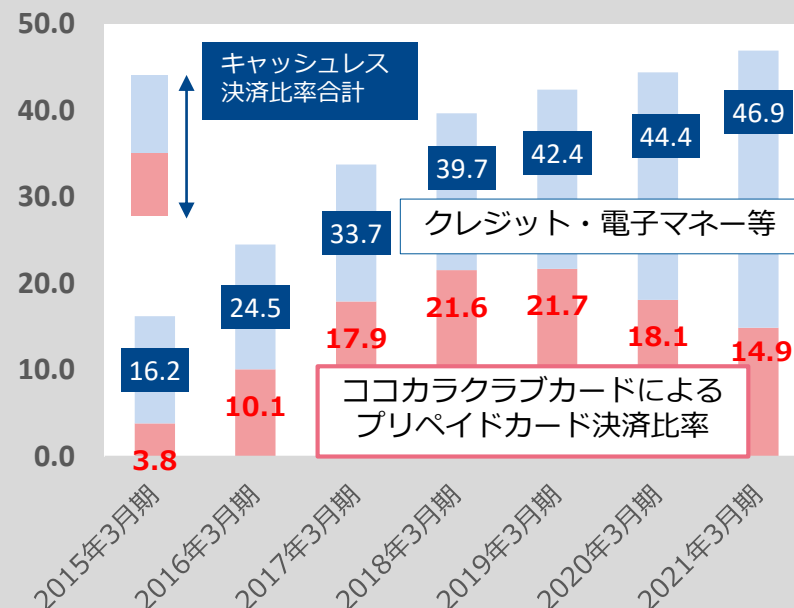
共通ポイントサービスの導入

- ・ 楽天ポイントカード（2019年10月）
- ・ **dポイント（2020年7月）**



多様な決済方法への対応

(単位：%) 物販に占めるキャッシュレス決済比率推移



EC購入商品の店舗受け取りサービスの対象店舗拡大

2020年7月
全国1,000店舗
以上に拡大

2021年3月
調剤専門店も対象となり
対象店舗は 1,334店舗に



ネットで注文、
店舗で受け取り

全国の対象店舗で**送料無料**

1,980円(税込)以上のお買い上げで、
店舗受取サービスをご利用いただけます。

2022年3月期 見通し

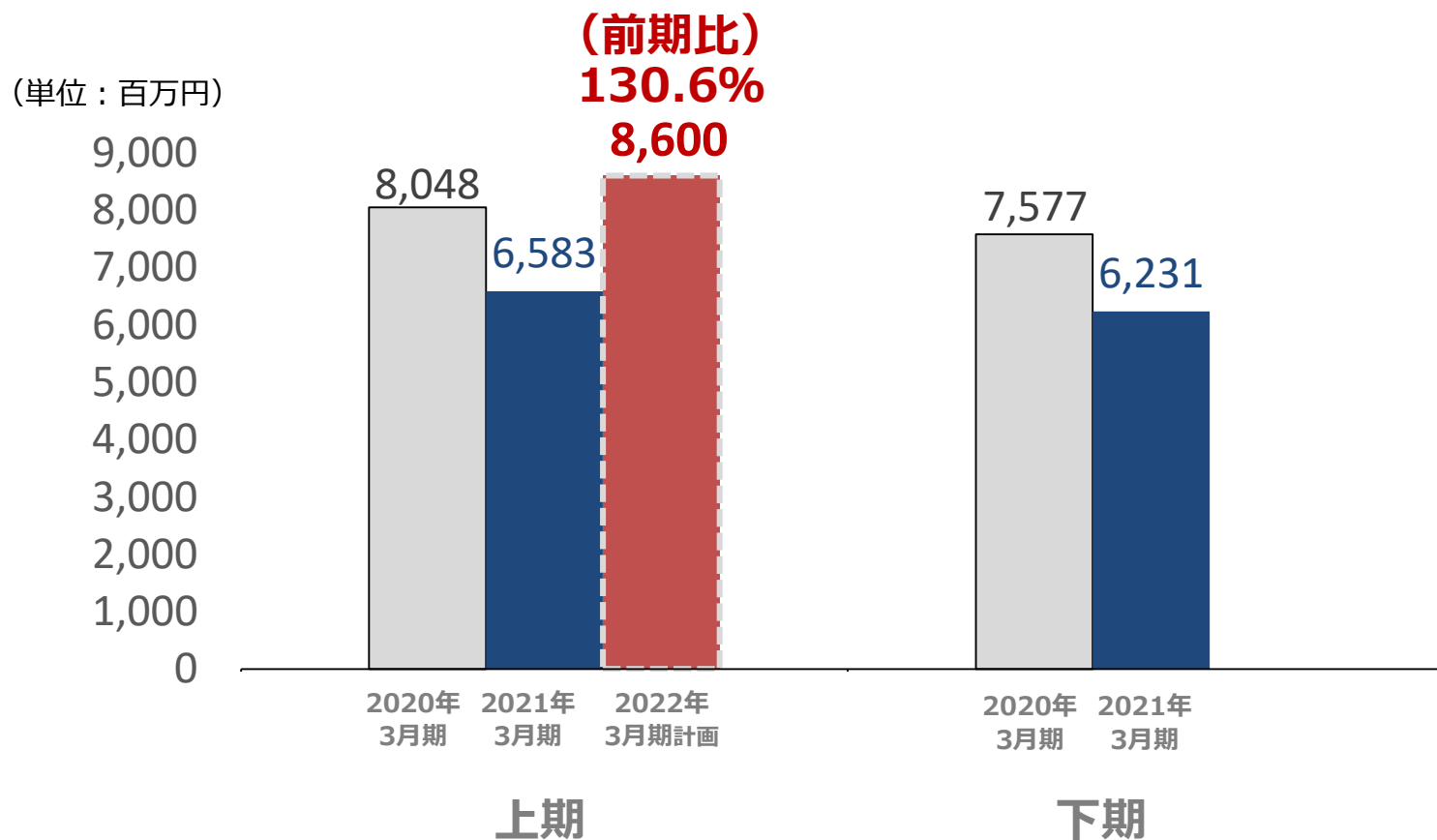
		2020年3月期 実績		2021年3月期 実績		2022年3月期 上期計画	
			内調剤 取扱店		内調剤 取扱店		内調剤 取扱店
出店※	ドラッグストア	+29	+7	+52	+13	+24	+9
	調剤専門店	+19	+19	+94	+94	+6	+6
		+48	+26	+146	+107	+30	+15
退店	ドラッグストア	-54	-1	-28	0	-13	0
	調剤専門店	-3	-3	-2	-2	-1	-1
		-57	-4	-30	-2	-14	-1
業態変更	ドラッグストア	-2	-2	-1	-1	-	-
	調剤専門店	+2	+2	+1	+1	-	-
		-	-	-	-	-	-
期末店舗	ドラッグストア	1,145	114	1,168	126	1,179	135
	調剤専門店	200	200	293	293	298	298
		1,345	314	1,461	419	1,477	433
改装店舗数 (看板変更・小改装含む)		78		42		93	
(内500万円以上)		34		10		34	

（単位：百万円）

	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 上期計画	（ご参考） 2021年3月期 上期実績
設備投資	8,871	4,819	2,868
合計	8,857	8,115	3,190
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,320	5,600	1,121
減価償却	4,125	2,012	1,962
のれん償却	412	503	107

	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 上期計画			(ご参考) 2021年3月期 上期実績
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	前期比 (%)	増減	金額 (百万円)
売上高	366,440 (100.0%)	193,200	100.7	+1,310	191,889
ドラッグストア・調剤	345,074	188,990	108.3	+14,541	174,450
卸売・介護	21,366	4,209	24.1	-13,232	17,439
売上総利益	108,923 (29.7%)	62,200 (32.2%)	115.8	+8,495	53,705 (28.0%)
販売管理費	98,575 (26.9%)	54,500 (28.2%)	113.0	+6,291	48,209 (25.1%)
営業利益	10,348 (2.8%)	7,700 (4.0%)	140.1	+2,204	5,496 (2.9%)
経常利益	12,815 (3.5%)	8,600 (4.5%)	130.6	+2,017	6,583 (3.4%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,320 (1.2%)	5,600 (2.9%)	499.3	+4,478	1,122 (0.6%)

【経常利益】 半期ごとの経常利益推移



お問い合わせ

株式会社ココカラファイン
総務部コーポレートリレーションチーム
TEL: 045-548-5937
<https://corp.cocokarafine.co.jp/>

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。